

【第3期まちづくり町民会議】

農業振興、福祉対策などについて意見交換 課題解決に向け、活発な討議が行われる

11月24日、第6回目のまちづくり町民会議を役場で開きました。

今回の会議ではグループで取り組んでいる課題解決に向け、役場の関係各課担当職員が参加し、話し合いました。

町の仕事内容について 熱心に討議

【まちづくり支援・ 福祉対策グループ】

前回の会議で福祉関係の仕事の内容を知りたいとの要望を受け、健康福祉課の稲田正純課長が同課の仕事について説明しました。

【主な意見】

▼生活実態調査はいつ結果が出るのか。

【回答】

●12月末には結果が出ます。調査票の回収率は8割を超



担当職員から仕事内容を聞く

自らの体験談などを話す



えました。8割を超えれば施策にも反映できますので結果を公表します

▼福祉事務所設置の準備は進んでいるのか

【回答】

●現在、来年4月の設置に向け、職員が日野総合事務所福祉保健局内の福祉事務所を研修しています

▼自分たちが年齢を重ねた時を考えると、生活など心配です。元気な時から頼み上手、頼まれ上手の関係を近所や地域でつくりたい

また、教育委員会の山形知博課長が、保小中一貫教育の取り組みで保育所と子育て支援室を所管していることや、町子ども15年プランなどについて説明しました。

基幹産業の農業を どうしていくのか

【産業振興グループ】

町の産業振興について、産業振興課の柴田孝志課長を交えて活発な意見交換が行なわれました。特に今後の町の農業をどうするかについて、現実をしっかりと見据えた話し合いが行われました。

【主な意見】

▼米価が安い状況の中、「金持米」の販売が継続できれば良いことだと思ふ。成功すれば、町の米に対する見方が変わるのではないか。町の特産品とする体制の整備が急がれる



思いをぶつけ合う

詳しい制度について理解する



▼米の販売も付加価値がないと売れない時代。特別栽培米の取り組みは大切。町の米は食味値が高いので期待できる

▼農業後継者の人材を増やすため、他町から新規就農者を集めて展開すれば将来的に人口増にもつながる

【回答】

●農地の貸し借りなどについて困っている人は、月に1度の農業相談日に情報提供や斡旋をしています。また、冬場に各集落で営農座談会を実施しますので、相談ください

次世代へつなげたい 日野町「子育ての知恵袋」

時代を問わず、子どもを育てる親世代に向けて、
ぜひ伝えておきたい“子育てについての知恵や思い”
“失敗談や体験談”を募集します。

寄せられた子育ての知恵は「日野町子育ての知恵袋集」としてまとめ、子育て学習の資料として活用します。

募集要領

- 応募資格** 日野町にお住まいの方
日野町に関係のある方（勤務・出身など）
- 応募方法** 応募用紙に住所（字まで）、年齢、性別を明記のうえ、町教育委員会または町公民館にご提出ください。
応募用紙は、町内全戸に配布するほか、町公民館や町図書館、下榎隣保館などの各施設にも置いています。
提出にあたっては、各施設や自治会長宅に置かせていただいている回収封筒をご利用ください。
- 字数** 100字程度
- 応募締切** 平成24年1月31日（火）
- その他** 提出された原稿は返却しません。
同じ内容のものはまとめさせていただきます。提出原稿そのままの掲載ができないものもあります。あらかじめご了解ください。

【問合せおよび提出先】

- ▶町教育委員会（電話 72 - 2107、FAX 72 - 1484）
- ▶町公民館（電話 74 - 0212、FAX 74 - 0105）

ルール
マナー

ものづくり

健康
食



お金

防災

豊かな心の
育成

生活
(衣・食・住)

